

美しい地域づくりを目指して



～第2回 滝沢村柳沢地区～

盛岡地方振興局土木部

私達は共に行動し支援します
私達は岩手山麓・八幡平周辺重点地域周辺の美しい地域づくりに住民の方々と共に行動し支援しています。
今回はその一つとして滝沢村柳沢地区のらしさ探しと活動状況について紹介します。



茅葺屋根の伝統的な農家と酪農農家
対比するといかがか



酪農農家独特のサイロは
時を経たトタン葺のマンサード屋根と
牧歌的なファサードが安らぎをあたえる



稔りと耕作 農家の営みが美しい景観を創っている



岩手山と山麓田園風景 視点場の違いが新たな景観を形成する



防風林が自然景観のワンポイント



沿道から見えるカラマツ林
木々の隙間から見える風景と光が爽やかさを感じさせる



発見！ カタクリの群生地 蜜の住むせせらぎ 道路と桜のアーチ



冬景色・白と黒の世界



まさにこれが看板。看板でその様子がわかる



たそがれ時の柳沢

○ 柳沢地区の歴史

柳沢地区は、滝沢村のほぼ中央に位置し、岩手山、姫神山をはじめとする山々を望むことができるほか、川や牧草地など自然豊かな地区です。

地区の中には岩手山神社や岩手山登山の表玄関である馬返し登山口があるなど、古くから岩手山とのかかわりが深かったと推察されます。

第二次世界大戦後には、県外からの開拓者が移り住み、酪農を始めました。現在は滝沢村の中でも酪農が盛んな地区となっています。

美しく、その反面厳しい自然と、その自然と闘いまた共存してきた開拓者の方々の苦難や忍耐などのおかげで、この地区の景観がつくられ、この地域のらしさが作られてきているのだと思います。

○ 新たな風と地域づくり

酪農家のほか、最近はこの地区の自然の美しさが気に入り、移り住んだ方もいるようです。

その方たちの中には、漆器、磁器、陶器、木工家具、ガラス食器等の工芸家の方々がおり、この方々は平成8年度に岩手山麓工芸会を結成、「岩手山麓工房まつり」などを開催し、展示即売、産直・手打ちそば、のだてなどで県内外からの来客を得ています。

また、岩手山麓工房まつりで農産物・岩魚販売を行うため、農家で構成された「柳沢いいものまるとネットワーク」や、滝沢村の分れから馬返し登山口までを桜並木にするため千数百本の苗木をうえ、現在はその管理に取り組んでいる「さくらの会」など、地域の方が参加した取り組みが盛んな地区でもあります。



○ 景観に関する取り組み

滝沢村では平成11年度に地域デザイン推進要綱を策定しております。この要綱は、滝沢を10地区に分け、それぞれの地区において、住民が主体となり本当にやりたいことを決定し、住民が進めていくという趣旨のものです。柳沢地区においても、まちづくり委員会を組織し、その下に3つの部会（土地の利用と保全交通通信部会、コミュニティ部会、うるおい部会）をつくり、活動しています。

景観形成についての活動をしているのは「うるおい部会」であり、今年度から景観形成住民協定締結に向けての具体的な活動を始めています。

今年度の地域住民を対象とした活動は、次のとお

りです

(1) まちづくり委員会勉強会（7月24日（土）開催）

講演内容：

① みんなで考えよう美しい景観 (盛岡地方振興局土木部 鍋倉次長)

- ・ 景観形成推進に関する県の取り組み
- ・ 県内の住民協定締結の状況
- ・ 柳沢のらしさ探しの発表

② 農山村快適環境づくり活動事例紹介 (前葛巻町小田部落会事務局長)

- ・ 景観形成住民協定を締結した葛巻町小田部落会の締結までの取り組みと現状

(2) 農山村快適環境づくり活動先進地視察研修会 (9月5日（日）開催)

場所：

葛巻町小田部落（景観形成住民協定地区）

(3) 柳沢「お宝」発見ウォーキング（10月17日（日）開催）

内容：

柳沢地域内を4班（岩手山神社周辺、一王子周辺、卯遠坂周辺、上郷周辺）に分れて散策。自分がお宝だと思うものを撮影し、発表。その後、班ごとにマップ作成。



○ 景観形成住民協定締結に向けて

うるおい部会では、来年度はアンケート調査やより具体的な協定の内容を勉強し、素案の作成するところまでを活動目標としています。

振興局においても、今年度同様、地元のみなさんと共に活動し、支援をして行きたいと考えております。